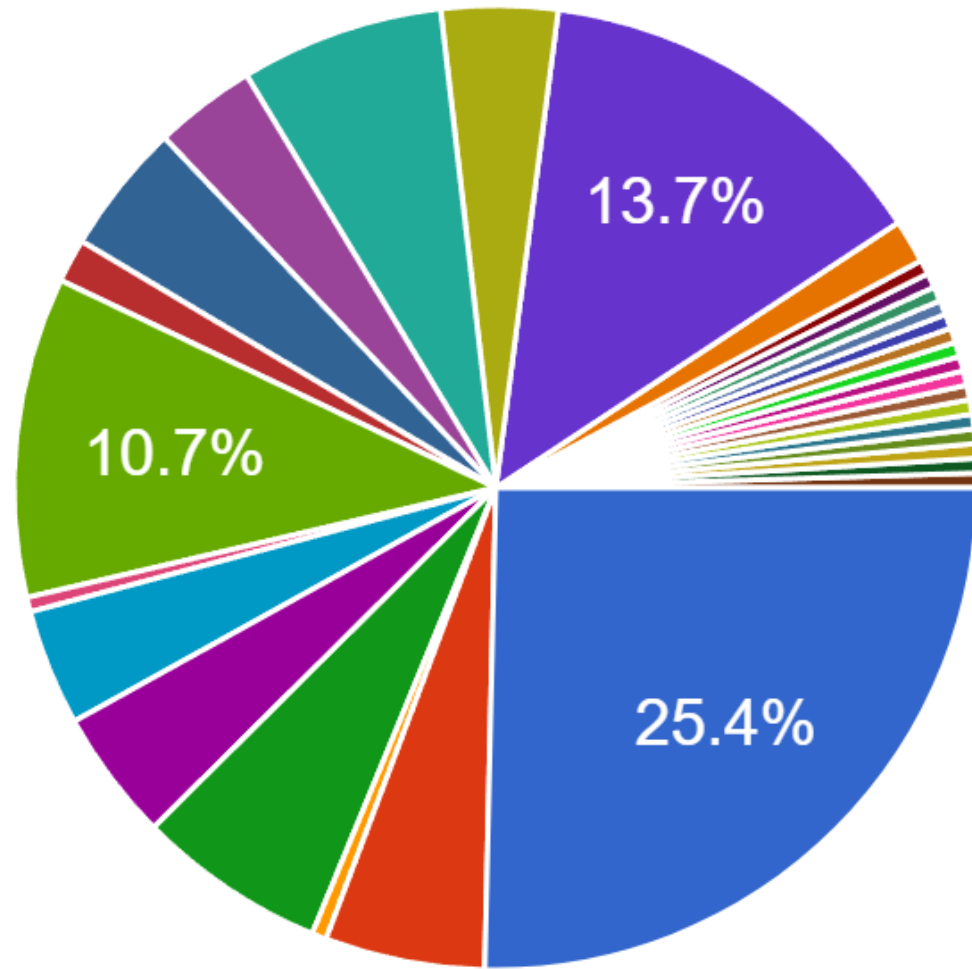


デジタルアーカイブ学会シンポジウム
「デジタルアーカイブをつくる人になるには？」

事前アンケート 集計報告

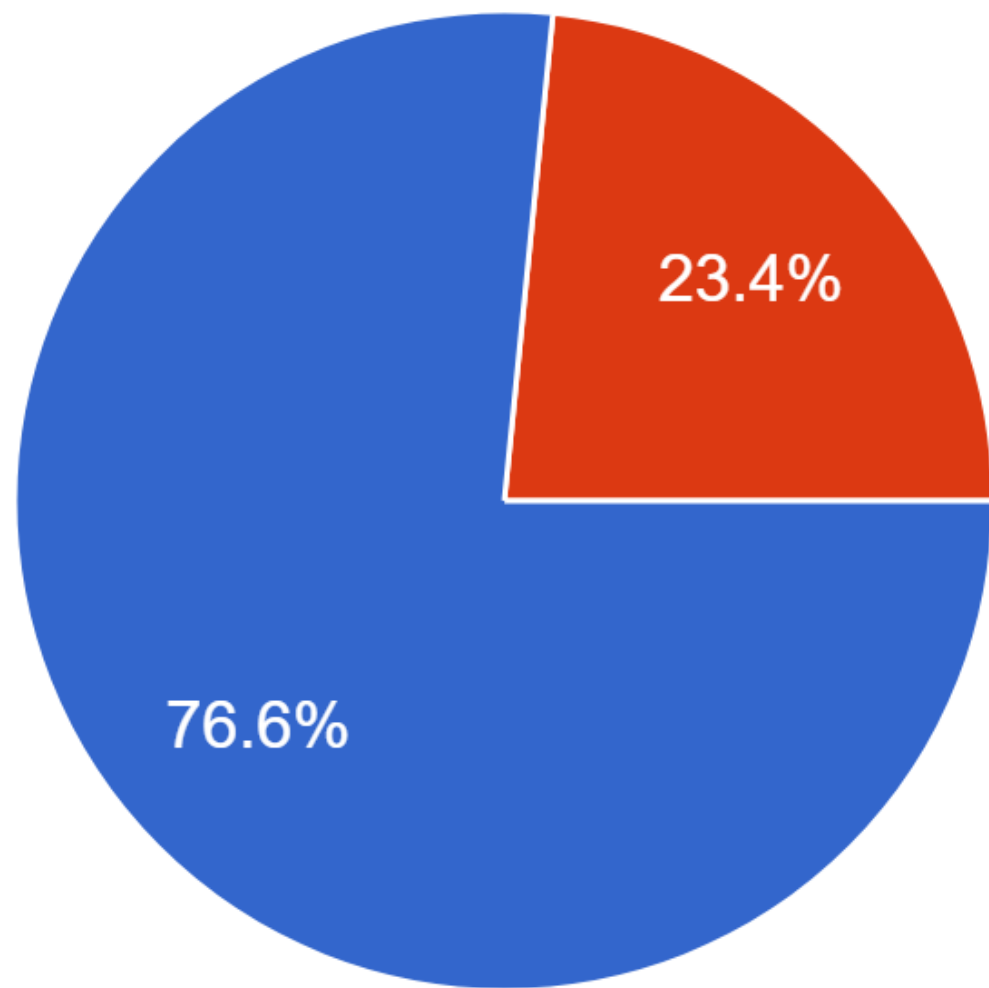
回答数：208件

ご所属を教えてください。



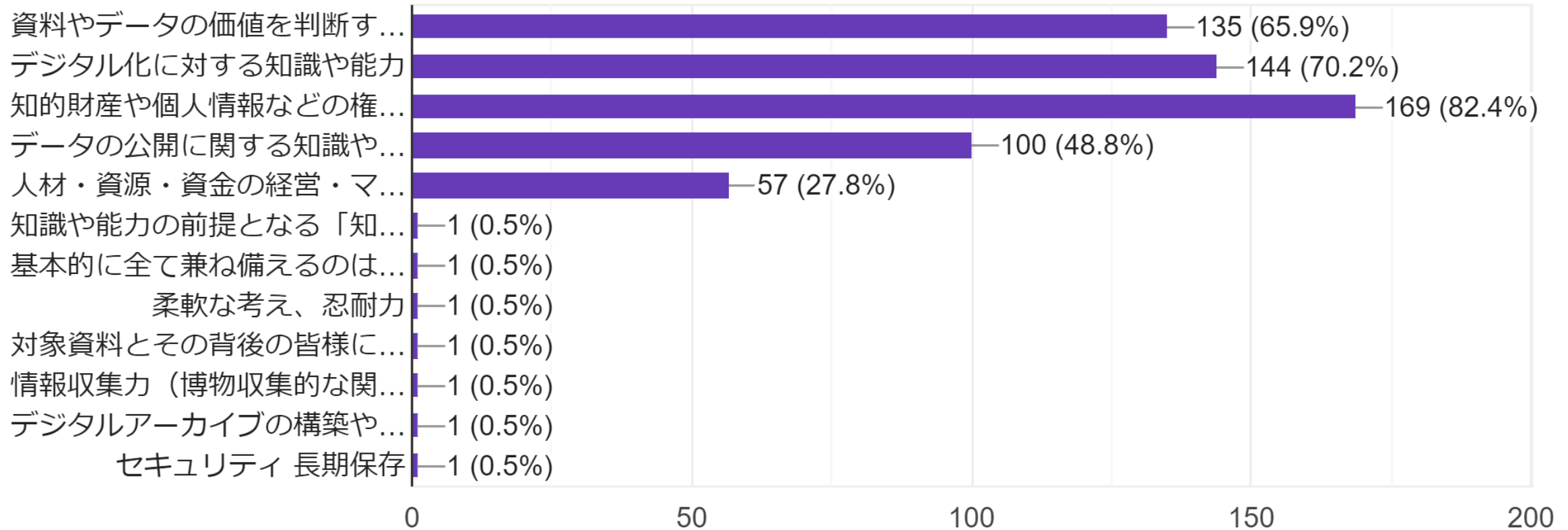
- 学部学生
- 大学院生
- ポスト・ドクター
- 博物館・美術館・資料館
- 公共図書館
- 大学図書館
- 文書館
- 大学の教職員

日本デジタルアーキビスト資格認定機構のデジタルアーキビスト資格（準を含む）
を持っていますか。



- 持っている
- 持っていない

デジタルアーキビストにはどのような資質が必要と思いますか。（3つまで選択可）



知的財産や個人情報などの権利処理に関する知識や能力 169件

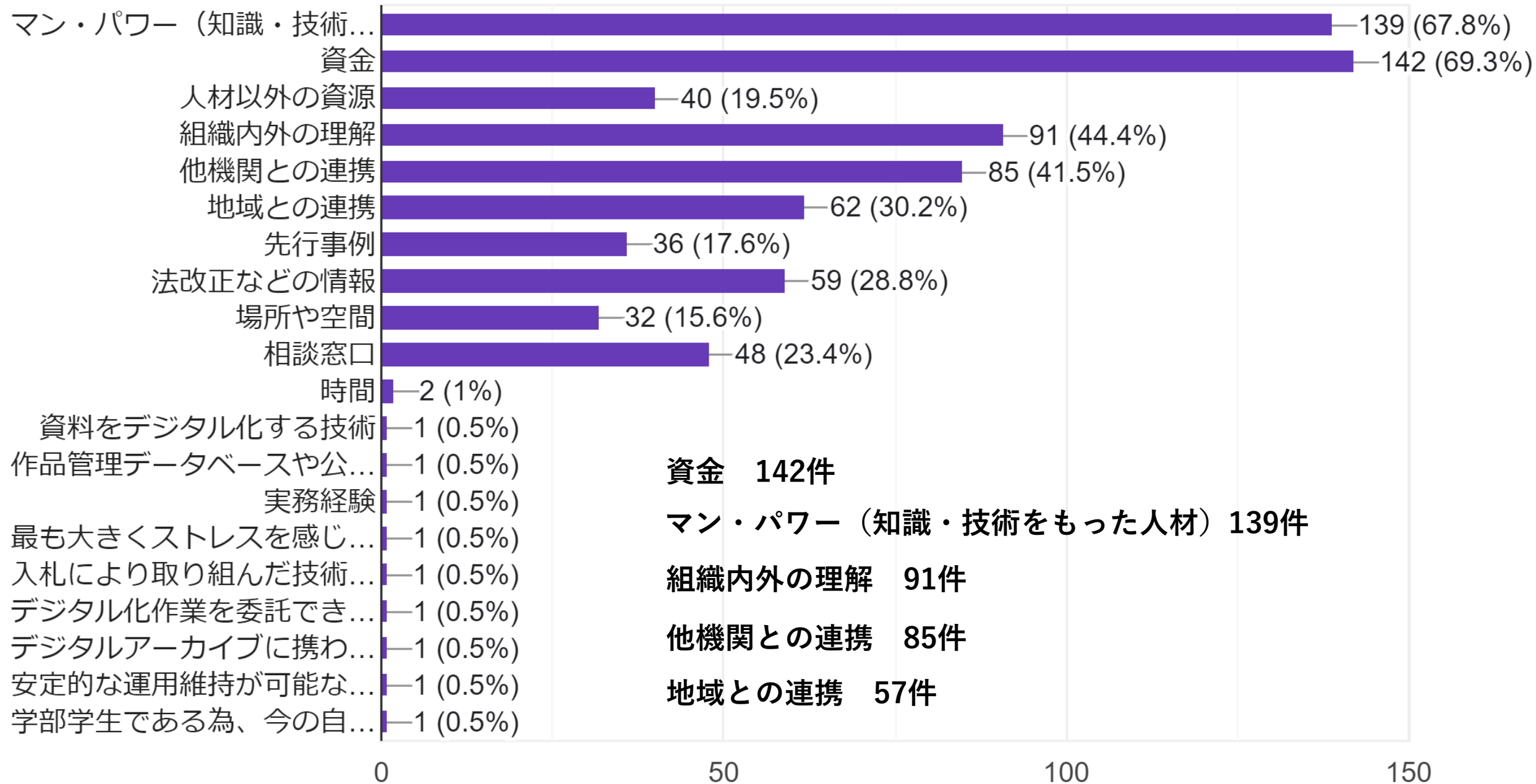
デジタル化に対する知識や能力 144件

資料やデータの価値を判断する知識や能力 135件

人材・資源・資金の経営・マネジメントの知識や能力 100件

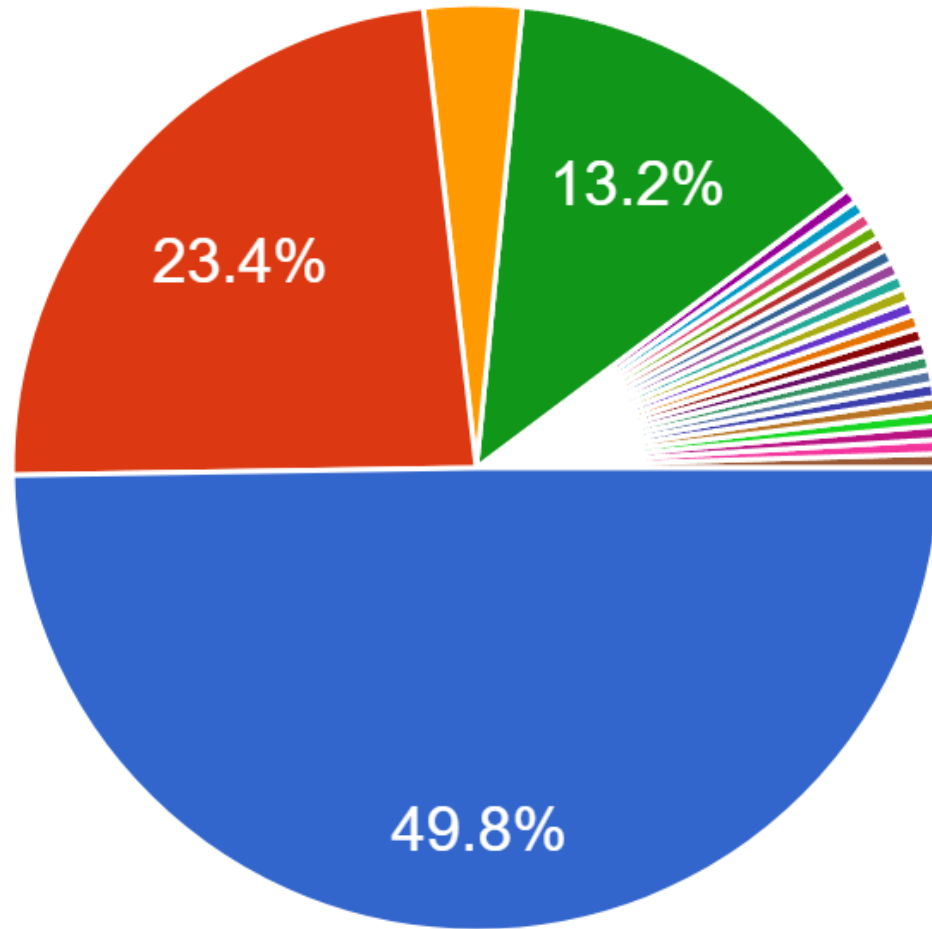
データの公開に関する知識や能力 57件

ご自身がデジタルアーカイブを作るとしたら、不足しているものとは何だと思いますか。（複数選択可）



資金 142件
マン・パワー（知識・技術をもった人材） 139件
組織内外の理解 91件
他機関との連携 85件
地域との連携 57件

デジタルアーカイブが無秩序に乱立することを避けるために必要なことは何だと思いますか。



- 継続的な運営の実効性
- 開発・運用目的の妥当性
- 開発・運用資金の妥当性
- デジタルアーキビストの資格保持者の存在、チェック

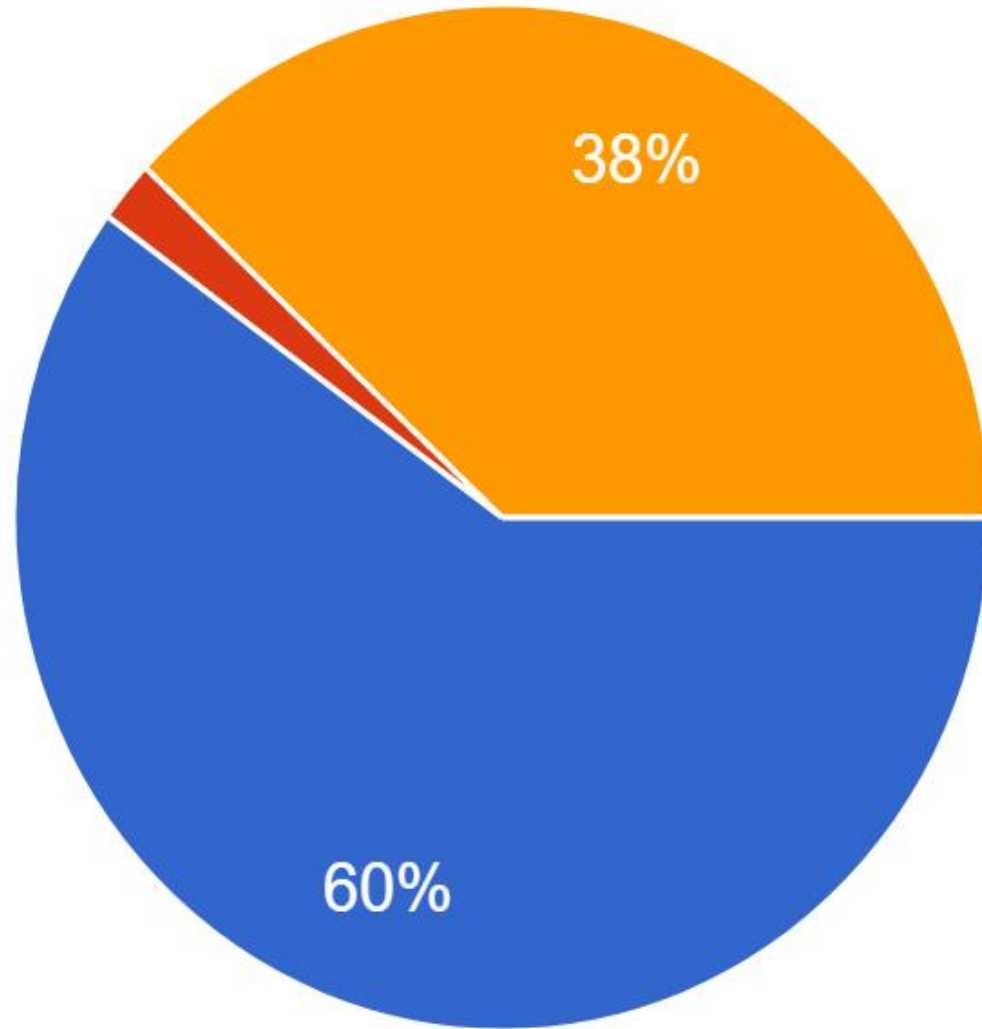
統一的な規格や容易な構築が可能なプラットフォーム

アーカイブ施設（個人を含む）間の連携、情報共有を可能とする仕組みづくりが必要

作品管理データベースや公開のための画像を含めた仕様などの標準化。iiifなどの普及。

保存形式の規格策定や、権利処理や公開基準などのガイドライン策定

デジタルアーキビストの国家資格化は必要だと思いますか。



- 必要である
- 必要でない
- どちらとも言えない

デジタルアーキビストの人材養成に関して、ご意見がありましたらお聞かせください。

※多数のご意見、ありがとうございました。ご意見の要点を項目ごとにまとめました。

資格の認知度と必要性

- ・ デジタルアーキビストの資格や役割の社会的認知度が低い
- ・ 資格の必要性や有用性について認知されていない
- ・ 資格の広報活動や認知度向上の取り組みが必要

教育とスキルアップ

- ・ 実践的な経験を積む機会が少ない
- ・ 継続的なスキルアップのための研修や勉強会が必要
- ・ 技術の進歩に対応した教育システムの更新が重要

資格取得の課題

- ・ 受講料や資格取得費用が高い
- ・ 受講や試験の日程が限られている
- ・ 資格取得後のフォローアップが不十分

職業としての確立

- ・ デジタルアーキビストとしての就職先や活躍の場が限られている
- ・ 適切な報酬や待遇が保証されていない
- ・ 職業としての将来性やキャリアパスが不明確

資格の位置づけと他の資格との関係

- ・ アーキビスト資格とデジタルアーキビスト資格の関係性が不明確
- ・ 国家資格化の是非や方向性についての議論
- ・ 他の関連資格（司書・学芸員など）との差別化や連携

実務上の課題

- ・ 著作権や法的問題への対応
- ・ マネジメントスキルの重要性
- ・ デジタル化の目的や価値の明確化の必要性

カリキュラムと養成内容

- ・ 実践的なスキルと理論的知識のバランス
- ・ 関連分野（歴史学、博物館学など）の知識の重要性
- ・ 技術面だけでなく、企画力や発信力の育成の必要性

デジタルアーカイブの課題

- ・ デジタル化資料の長期保存や更新の問題
- ・ デジタル化の目的や利活用の重要性
- ・ デジタル化による原資料への影響の考慮